

計画策定・改定WGの活動報告 資料 3-4

<目的>

- ・WG参加自治体の計画策定・改定を支援する。
- ・計画策定・改定に関する課題及び解決方法を取りまとめる。

<実施内容>

- ・WG会議を計4回実施（開催概要は次頁参照）
- ・北海道版ワークシート（第3版）及び計算エクセルの更新
- ・計画策定支援：災害廃棄物処理計画素案作成、図表作成

<ワーキンググループメンバー>

- ・市町村 9自治体13名
災害廃棄物処理計画を策定したい自治体：7自治体
災害廃棄物処理計画を改定したい自治体：2自治体

1

●開催概要（オンライン開催）

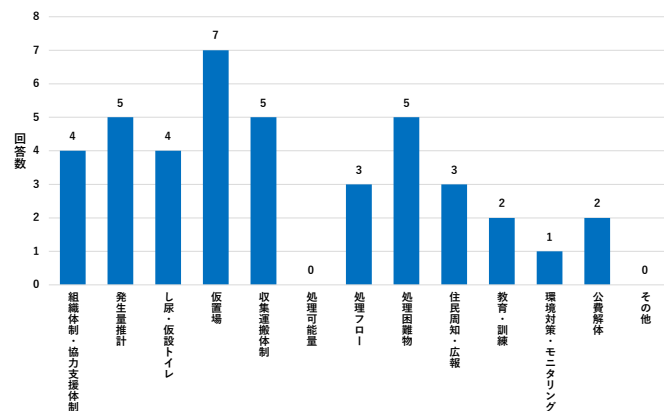
回	日程	主な内容	参加者
第1回	令和6年 9月4日	(1) 災害廃棄物処理計画の重要性について (2) 本業務の概要及びスケジュールについて (3) 事前アンケートの結果について (4) 北海道版ワークシート（第3版）の紹介 (5) 災害廃棄物処理計画に必要な内容の説明 【対象とする災害、職員への教育・訓練、組織体制・協力支援体制】 (6) 演習 災害廃棄物処理計画作成	9自治体 12名
第2回	令和6年 10月2日	(1) 北海道版ワークシート（第3版）の補足説明 (2) 災害廃棄物処理計画に必要な内容の説明 【住民への周知・広報、避難所ごみ（生活ごみ）、し尿・仮設トイレ】 (3) 演習 【避難所ごみ（生活ごみ）、し尿・仮設トイレ】 (4) 演習 災害時の広報用チラシの作成	6自治体 8名
第3回	令和6年 11月12日	(1) 補足説明 (2) 災害廃棄物処理計画に必要な内容の説明 【災害廃棄物発生量・処理可能量の推計、処理フロー、収集運搬体制】 (3) 演習 【災害廃棄物発生量、処理可能量】	9自治体 12名
第4回	令和6年 12月18日	(1) 災害廃棄物処理計画に必要な内容の説明 【仮置場、処理困難物、環境対策・モニタリング、公費解体】 (2) 演習 【仮置場必要面積】	9自治体 13名

2

○事前アンケート

Q 1. 計画策定・改定WGで詳細な説明を希望する事項（最大5つ選択）

- ・ワーキンググループメンバーを対象として計画策定・改定WGで詳細に説明を希望される事項等についてのアンケートを行い、参加市町村（9自治体）から回答をいただいた。
- ・回答数が多い事項については、説明のボリュームを増やすことで理解を深めることとしました。



3

○事前アンケート

Q 2. 貴自治体における地域特性や留意すべき事項

区分	地域特性や留意すべき事項
仮置場の選定	・車の通れる道路が片側しかなく、災害時に道路が数ヶ所寸断された場合、災害廃棄物の回収が困難となる事や仮置き場の設置場所を選定することに苦慮している。 ・公有地の仮置場を基本と考えていますが、広い敷地は用途がすでに決まっている場合がほとんどのため、他の自治体の選定場所及び候補を伺いたい。 ・仮置場について、市有地で一定の選定をしているが、被害状況によっては市有地で足りないことも想定され、その場合、国有地・道有地でどの程度の支援を受けることができるものなのか懸念している。 ・仮置場の選定 ・前担当より引継より、1カ所は仮置き場の選定をしている。
対応事例の共有	・水産加工場と大規模太陽光発電施設が多く存在しており、これらの災害廃棄物処理にあたり、対応事例があれば、状況共有をいただきたい。
処理施設の被災	・立地上、万が一、市内の廃棄物処理施設が災害被害を受けた場合、人口規模や排出量に見合う処理施設が近隣自治体には無いという点を懸念している。

4

○事前アンケート

Q 3. 災害廃棄物処理計画を策定・改定するにあたり懸念事項

区分	懸念事項
人員の不足	- 出来る限り担当で計画策定を行いたのですが、職員不足のため着手できないのが現状で、事務のボリュームや担当職員の最低必要人数を教えてください。また、コンサル会社委託も視野には入れています。 - 係は1名しかいなく、今年度中に計画を策定する予定となっているが、専念する時間がない。 - 担当職員が少ないため、計画作成に専念できない。
現行計画との乖離	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における当市の被害想定は、現計画の被害想定と大きく乖離するものであったため、それに則した計画の改定は、時点修正ではなく大幅な改定が想定され、対応に苦慮している。
災害廃棄物発生量の推計	災害廃棄物の発生量推計作業

Q 4. その他、計画策定・改定WGについて意見

区分	懸念事項
他市町村の情報収集	計画策定済みや策定予定の他市町村から、策定にあたり注意点や工夫している事等々ありましたら教えていただきたい。
災害廃棄物発生量の推計	災害廃棄物の発生量推計について、算定手順を詳しく伺いたい。

5

○ WGでの主な質問、意見

●第1回

区分	主な質問、意見	回答
対象とする災害	対象とする災害を選定する際に、地域防災計画と整合性をとる必要がある。過去の災害履歴のうち可能性が高いものがよいか、規模が大きいものがよいか、選定基準等あるか。	⇒ 被害規模が大きいものを選定することが望ましい。
災害時応援協定	災害廃棄物処理に関してまだ応援協定を締結していない。今から締結しないといけないうか。	⇒ 地域防災計画に記載されている協定を処理計画に記載していただき、今後災害廃棄物処理業者との協定締結について検討を進めていただきたい。
処理計画策定の流れ	災害廃棄物処理計画策定にあたり下記の順にすすめていくことでいいか。 ①策定素案作成、②策定伺い、③各部局共有・承認・防災担当へ諮問、④パブリックコメント募集、⑤策定 周知（町HP掲載）	⇒ 場合によってはパブリックコメントと策定周知の間に、首長・議会への説明・承認を実施することがある。

6

○ WGでの主な質問、意見

●第2回

区分	主な質問、意見	回答
処理困難物	平時の処理施設で処理できない品目についてはどのように対応すればよいのか。	⇒ 北海道（振興局）や環境省（は相談でのみ対応）を通じて北産協とも連携し、処理事業者を紹介することはできる。まずは仮置場での受け入れや収集運搬体制を整えていただく必要がある。平時の業務とは異なるため、あらかじめ検討しておくことが重要である。
農業ごみ	農家が多い地域のため、農業関係のごみが排出される可能性がある。いわゆる事業系ごみも仮置場にいったん集めて、いまこれだけの量が排出されていますと振興局のほうに相談すれば良いということか。	⇒ 何も言わずに受け入れてしまうと便乗して持ち込まれてしまう可能性があるため、事前に検討しておく必要がある。

●第3回

区分	主な質問、意見	回答
仮置場の選定	仮置場がないと処理計画の策定は厳しいか。	⇒ 処理計画に仮置場を記載していない自治体は多い。仮置場が決まっていなくても計画策定は可能であるが、公有地などの候補地を事前に検討しておく必要がある。

7

○ WGでの主な質問、意見

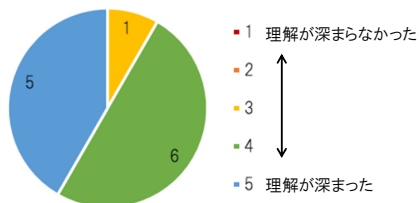
●第4回

区分	主な質問、意見	回答
仮置場の選定	ゴミステーションを仮置き場とするのは望ましくないとあったが、人口規模や災害の状況によっては効果があると思う。	⇒ 生活ごみと災害廃棄物の分けがどこまでできるかによる。最終的に災害廃棄物の処理に関わった費用は補助をうけることができる。仮置場においてもしっかり分けて処分することで後々、書類の整理の部分でスムーズにいく。人口規模によっては、ゴミステーションでしっかりと生活ごみと災害廃棄物が分けられるようであれば効果があると思う。
仮置場の選定	仮置場候補地が見つかっておらず、仮置場必要面積に全然足りない状況である。そのため、ゴミステーションに災害廃棄物を持ってきてもらう方法であれば対応できると思う。	⇒ 通常ごみの回収日とは別の日に家の敷地内もしくは玄関先に災害廃棄物をだしてもらいシルバーの方に収集運搬してもらう方法もあるかと思う。
補助対象の範囲	仮置場に関する資機材の費用負担は全額自治体負担となるのか。	⇒ 環境省ホームページにある「災害関係業務事務処理マニュアル」を参考にしていきたい（p. 27～補助対象内外早見表、p. 126～質疑応答集）。疑問等については環境省までご相談ください。

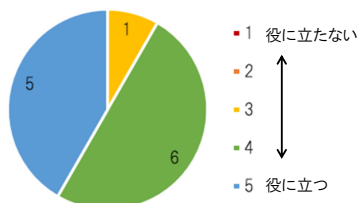
8

○事後アンケート

Q 1. 計画策定・改定WGを通じて、災害廃棄物処理に関する理解が深まりましたか。



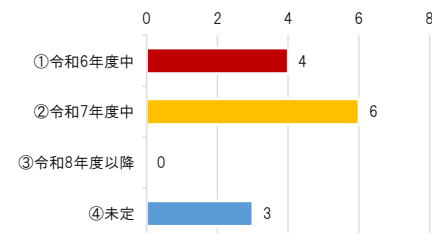
Q 2. 本WGの内容は、今後、平時の対策や災害廃棄物処理計画の策定・改定を進める上で、役立つと考えますか。



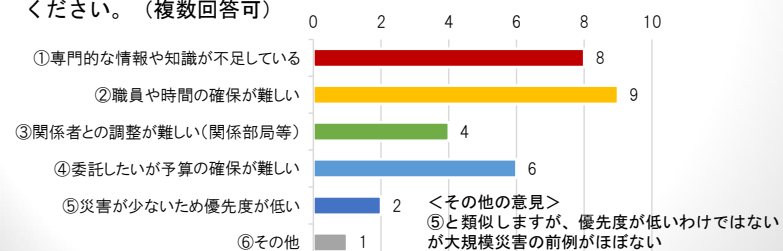
9

○事後アンケート

Q 3. 今後の災害廃棄物処理計画の策定・改定予定を教えてください。



Q 4. 災害廃棄物処理計画の策定・改定が進まない理由がありましたら教えてください。(複数回答可)



10

○事後アンケート

Q 5. 災害廃棄物処理計画の策定・改定するにあたっての課題

区分	課題
専門知識の不足	- 計画策定にあたって、どのように進めていけばよいかわからないです。わかりやすいロードマップみたいなものがあればよいとおもいます。 - 災害廃棄物のみならず災害の全体像を把握し得る専門的知識を有する者の見地からの意見が必要と考えるが、そのノウハウを持つ者がいない。 - 現行の計画に日本海溝周辺海溝型地震の被害想定を見込んだ改定を検討しているが、本市の被害想定では、市単独での処理は不可能であり北海道に事務委託するレベルであることから、どのような改訂内容にするか悩んでいる。
人員・時間の不足	- 一人の係のため、時間が割けず、計画策定が進んでいませんが、1月より集中的策定を進めたいと考えています。 - 当業務に専属的に係る人員が不足している。 - 本業務に従事する時間の確保が課題です。
北海道・国への要望	- 策定そのものは、この一連の会議を通して、理解を深められるとともに、作業を進められるものと捉えているが、実際に災害が発生し、災害廃棄物の処理を行うとなると、様々な資機材を迅速に手配しなければならないことから、それらの一部(作成が必要な案内板や分別看板など)でも事前に備蓄しておくための補助金があれば、発災時によりスムーズな対応が可能となるのではないかと。 - 計画実行時について、平時から準備し得る予算と、それを裏付けるための補助(国・地方等)が不足している
その他	ワーキング会議に参加して、職員で計画策定を行う事ができそうです。

11

○事後アンケート

Q 6. Q 1～Q 5も含め、計画策定・改定WGの内容についてご意見、ご要望

区分	ご意見・ご要望
計画策定に関する要望	令和7年度中の策定を目指していますが、わからない事がありましたらご教授お願い致します。
災害廃棄物処理体制の構築	国の想定では、本市を含めた近隣自治体で大規模災害が発生した場合、相当量の災害廃棄物が発生するとされています。近隣町村では本市への廃棄物搬入を計画していますが、保管場所や処理能力の限界を超える事態が想定されています。そのため、こうした状況においては、近隣自治体からの人的・物的リソースの提供を受けながら対応するための体制づくりの構築を検討しなければならない。
WG運営に関する意見	- 毎回、役立つ内容のWGとなっており感謝しているが、時間に限りがあるため、内容が走りがちになったり、演習時間が足りなかったりするので、時間配分をご考慮願いたい。 - 業務多忙でWGを欠席することが多くなってしまいましたが、学びが多く大変有意義なWGでした。いただいた資料を見直しながら今後の計画改定に備えたいと思います。
行動マニュアル作成に関する要望	災害廃棄物処理計画を基にした、具体の行動マニュアルの作成を検討しており、参考になるものがあればご教示願いたいと思います。
その他	計画策定のひな型が存在するのは大変助かりました。

12

○ 処理計画作成支援

●WG会議での工夫点

- ①北海道版ワークシート(第3版)、計算エクセルの更新
(災害廃棄物処理計画策定・点検ガイドライン(令和5年4月)を参考に修正)
- ②他市町村の災害廃棄物処理計画の記載例の紹介
- ③過去発生した災害での対応事例の紹介
- ④演習問題(避難所ごみ、し尿・仮設トイレ、災害廃棄物発生量、処理可能量、仮置場必要面積)の実施
- ⑤災害時の広報チラシの作成

●処理計画作成支援

- ・Push型(骨子案作成)の支援 3自治体
- ・骨子案の確認 5自治体
- ・図面等作成 3自治体



13

○ 計画策定・改定に関する課題及び解決策

課題	解決策
専門的な情報や知識が不足している	○災害廃棄物処理計画策定・改定に関する事項(次頁参照)を情報提供する。 ●各種推計は、北海道地方環境事務所HP掲載の「計算エクセル」や「水害に関する災害廃棄物発生量推計の手引き」を活用する。
職員や時間の確保が難しい	●他部局と協働して作成する。 ●北海道地方環境事務所HP掲載の各種ツール(「北海道版ワークシート(第3版)」、「計算エクセル」、「北海道版ワークシート(簡易版)」、「自治体支援マニュアル(ワークシート解説)」)を活用する。
関係者との調整が難しい(関係部局、民間事業者等)	○庁内での調整や共有が特に望ましい事項を情報提供する。 ○共同処理している場合に関係自治体間で整合をとることが望ましい事項(処理可能量の推計等)を情報提供する。 ○連携強化WG等を通じて自治体と民間事業者との意見交換の場を設け、平時からの関係構築を図る。
仮置場の選定に苦慮している	○仮置場の選定事例や仮置場に関する処理計画の様々な記載例を情報提供する。 ○北海道とも連携して、仮置場候補地となり得る国有地や道有地等の情報を整理し、自治体に提供する。 ●防災部局等の関係部署に協力を依頼して仮置場を選定する。 ●北海道地方環境事務所HP掲載の「仮置場選定方法のマニュアル」を活用する。 ●計画策定時に仮置場候補地を確保していることは望ましいが、難しい場合は仮置場の設置方針を計画に記載して策定し、引き続き仮置場候補地を検討する(将来的に計画を改定)。

○：環境省実施事項、●：自治体実施事項

14

○ 計画策定・改定に関する参考資料

参考資料	発行年度	発行者
災害廃棄物対策指針(改訂版) http://kouikishori.env.go.jp/guidance/guideline/	平成30年3月	環境省
災害廃棄物対策指針 技術資料 http://kouikishori.env.go.jp/guidance/download/	適宜更新中	環境省
災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き http://kouikishori.env.go.jp/guidance/initial_response_guide/	令和3年3月改訂	環境省
災害廃棄物対策グッドプラクティス集 http://kouikishori.env.go.jp/strengthening_measures/municipal_measures/	令和5年3月	環境省
災害廃棄物処理計画策定・点検ガイドライン http://kouikishori.env.go.jp/guidance/planning_and_inspection_guidelines/index.html	令和5年4月	環境省
災害廃棄物処理体制と業務(リーフレット) http://kouikishori.env.go.jp/guidance/leafret/index.html	令和5年4月	環境省
市町村災害廃棄物処理計画策定ワークシート【北海道版】第3版 https://hokkaido.env.go.jp/recycle/new.html	令和5年3月	北海道地方環境事務所
大規模災害時における北海道ブロック災害廃棄物対策行動計画(第2版) https://hokkaido.env.go.jp/recycle/new.html	令和6年2月	北海道地方環境事務所
北海道災害廃棄物処理計画(※2/15までパブリックコメント中) https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/saigaikekaku.html	平成30年3月(令和4年9月一部修正)	北海道
日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定について https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/122089.html	令和4年7月28日	北海道
北海道地域防災計画 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/bousaiyohou_top.html	令和6年1月	北海道

15